

2022年度2学期 多文化交流科目

「海外の学生と日本語で 世界の課題を話し合おう ーオンライン協働学習ー」

北海道大学の学生が香港大学・韓国嶺南大学の学生とともに、オンライン上でディスカッションをしながら、グループごとにSDGsの17の目標のなかから関心のある以下のテーマについて協働で調査し、ポスターにまとめました。

ぜひご覧ください😊

- 海の豊かさを守ろう
- 性別平等は学校から
～STEM選択で体現した男女差別問題～
- 無償労働の男女格差をなくそう
- 地球温暖化とどう向き合うか
- ホームドアは本当に安全ですか？



海の豊かさを守ろう

香港大学 トミー ケスリー
 嶺南大学 オチャンヒ ポンウェン
 北海道大学 小森穂駿 工藤淳

1. 現状

日本、韓国、香港の3地域全てで漁獲量が大きく減少している。漁獲量や個体数が回復する兆候も見られない。



原因は？

- 1, 過去の乱獲
- 2, 緩い水産資源管理



2. 私たちが取り組むべき問題

現在の資源管理や漁業体制では、将来は水産資源が枯渇する！



SDGsでも掲げられている
「計画的な管理による水産資源の回復や、持続可能な漁業と養殖の実現」
 を目指そう！

3. 問題解決

漁獲量制限を厳しく



養殖の普及



持続可能な漁業

3.1 漁獲量制限

現在の漁獲量制限の状況

過去の漁獲量と個体数の変化から推定した、漁獲可能量（TAC）に基づいた漁獲量規制を行っている。

しかし

TACの規制が漁獲量制限を大幅に上回っており、規制が意味をなしていない。

規制対象の魚種が少なすぎて、広く水産資源を管理できていない。



規制を今まで以上に厳しくすることで、より広く水産資源を管理し、回復を目指そう！

具体的にどうする？

- 1 TACによる規制の厳格化、対象魚の増加
- 2 漁業団体や政府が漁師たちに、漁獲量制限により減少する収入に相当する金額を援助（個体数が回復し、漁獲量が増えることで収入が増えたら、援助費用を返還）
- 3 現在のオリンピック方式（早い者勝ち）からIQ方式（船ごとに漁獲量を定める）への移行による乱獲の防止

3.2 養殖の普及

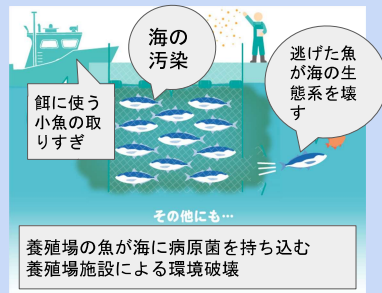
現在の養殖の状況

日本と香港は養殖の割合が低く、韓国は養殖の割合が増えてきている。

問題点

三か国とも今の養殖の方法に課題がある！

養殖の過程で海に悪影響を与えている！



海の資源を守り持続可能な養殖を目指そう！

具体的にどうする？

- ノルウェーの成功例をモデルに！！
 養殖で以下の三つに成功！
- 1 漁獲量増加
 - 2 海の環境の改善
 - 3 安全で高品質な魚（寄生虫なし）の育成

ノルウェーにおける持続可能な養殖の取り組み

厳しい指標による養殖場管理 ↓ 魚に優しい環境づくり	水環境をモニタリング、魚の住環境を管理 ↓ 有害物質レベルはEUの基準値をはるかに下回る
1990年代以降、抗生物質の使用量が99%減少 ↓ おいしい&安全でヒトに優しい	エサは植物由来70% 海洋由来30% ↓ 環境負荷が低く、海に優しい

4. 私たちにできること

自然に負荷をかけすぎないためには、天然魚だけでなく養殖魚も食べよう！



養殖魚に対する否定的なイメージを減らそう！

具体的にできる取り組み

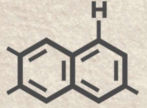
この二つのラベルが貼ってあったら環境に配慮している証拠！積極的に購入しよう！





性別平等は学校から！

～STEM選択で体現した男女差別問題～



1、背景

文理どちらに進学するのは自由に決められる。しかし今の社会では親や社会の圧力が強い、ロールモデルが少ないなど、好き嫌いだけでは文理を選択できない現状がある。

どうして**学校**に注目するのか？

- ・教育と社会は互いに**影響し合う**関係 → 学校が**変化**したら、社会も**変化**する
- ・学校が社会の性差別の**根源**

・2018年国際学習到達度調査（PISA）：

	日本	韓国	香港
数学	男>女：10ポイント	男>女：4ポイント	女>男：6ポイント
科学	男>女：3ポイント	男>女：4ポイント	女>男：9ポイント

→ 男女の**数学、科学**の習熟度の間に**大差なし**

STEM（ステム）とは？

Science（科学）、**T**echnology（技術）、**E**ngineering（工学）、**M**athematics（数学）

しかし

現状：STEM科目に女子が占める比率が**低い**



理系に女性が少ないと...

- ①理系分野の人材の多様性が欠ける
- ②理系の職場で女性の意見が通りにくい

問題が起こる原因 **固定観念の定着・発達とロールモデルの不足**：相互因果関係

2、現行解決策の問題点

日本・香港：**宣伝**が足りない
→まだ実施されていない解決策が多い
→政府からの支援が少ない

韓国：男女間の**誤解**が深刻化する
例) 女子「だけ」に対する理系進学支援授業の実施で男女の間の格差が再び大きくなる

3、解決策 **ゴール**：男女とも自由に科目選択できる環境を作りたい

私たちができることは？

「性別を問わず**誰でも**STEM分野で成功できる」というメッセージを**宣伝**する



同調圧力が強い：
少数派になることに消極的になりやすい

現役理系女子大学生が
高校生に大学生活の魅力を伝える
・大学ですること・理系の雰囲気
・「理系」のリアルを伝える

- ↑理系の大学生生活をイメージできる
- ↑心配をなくす



深刻な男女対立：
ジェンダー問題は敏感な話題

STEM専攻の女性が
男女混合の高校生を指導する
・STEMに関する活動を行う
・男女混合でグループワーク

- ↑男女間の亀裂をなくす



「理系女子」は両親から期待されていない：
小学校からSTEM科目を志望する割合に男女格差がある

大学でSTEMを専攻している女性が
小学校で講座を開催する
・小学生と両親を対象にする

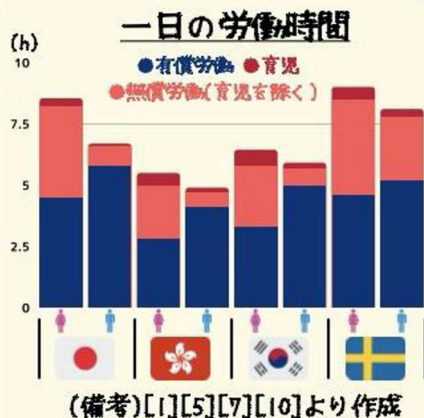
- ↑親の偏見をなくす



無償労働の男女格差をなくそう

女性の社会進出は進んでいる一方で、男性の家庭進出は行き詰っている...

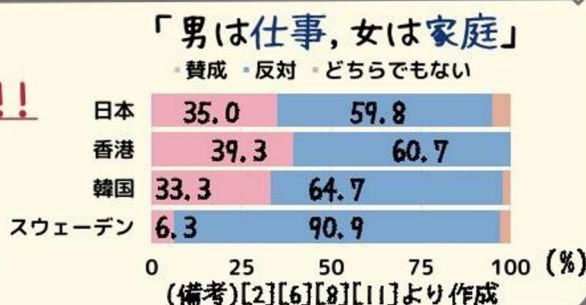
現状



有償労働：仕事、学業
無償労働：家事、育児、介護

- 男性の方が有償労働時間が長く、女性の方が無償労働時間が長い
- 総労働時間は女性の方が長い
- スウェーデンと比較すると男女差が大きい
- 育児時間の男女比(女性/男性)
日本 3.5 香港 2.5 韓国 3.0 スウェーデン 1.6

性別役割意識が強い!!!



女性の声



- キャリアを諦める
「出産で退職せざるを得なかった」
- 「家事や子育てと両立できる自信がなくて、昇進の話を断ってしまった」
- 雇用の機会が不平等
「就活の面接で出産・育児との両立について聞かれた」



男性の声

- 大黒柱としての責任の重圧
「転職したいが、収入が不安定になるのでできない」
- 無言の圧力
「職場の雰囲気的に育休が取りにくい」

対策

- 育休を分割して取得できるようにする
「産後パパ育休」
- 「イクメンプロジェクト」の一環で行われる育休に関するオンラインセミナーの開催

課題

- 2021年時点で男性の育休取得率が13.97%...過去最高水準もまだまだ低い(女性は85.1%)

提案

- 企業ごとに育休制度を整備する義務を徹底させる

対策

- 男性の産休取得日数を3日から5日に、女性は10週間から14週間に延長
- 外国人家政婦を雇う家庭が全世帯のうちの1/8

課題

- 産休制度が男女で公平でない
- 家庭によっては経済的に家政婦を雇うことができない

提案

- 男性の産休取得日数を女性と同等にする
- 産休制度の新設を検討する

対策

- 産休制度のほかに時短勤務制度も整備された
- 二番目に育休を取る親に給付金を支給する「パパの月」制度の給付期間を3か月に延長

課題

- 時短勤務制度の利用者の男性比率は上昇傾向にあるものの13.4%にとどまっている

提案

- 企業に育休・時短勤務制度の整備を義務化する

みんなにできること



身近な人と、男女平等について意見交換をしてみよう！
(自分のもつ固定観念に気付く)



選挙で投票するときは、男女平等も視野に入れてみよう

SNSで知っている制度などの情報を共有しよう！



参考文献

[1]令和3年社会生活基本調査 | 総務省統計局
[2]男女共同参画社会に関する世論調査 | 内閣府
[3]子ども・子育て支援新制度: 子ども・子育て本部 - 内閣府
(<https://www8.cao.go.jp/shoushi/index.html>)
[4]父親の仕事と育児両立本
〜ワーク・ライフ・バランス ガイド〜 | 厚生労働省
[5]Balancing paid work, unpaid work and leisure (2020) | OECD
[6]男女共同参画社会に関する国際比較調査(平成14年度調査) | 男女共同参画局

[7]Hong Kong Census and Statistics Department (2022)
[8]香港的女性及男性對婦女在家庭、職場及社會的地位的看法 | 婦女事務委員會
[9]Women and Men in Hong Kong Key Statistics.
(<https://courier.jp/news/archives/16835/>)
[10]생활시간조사 | KOSIS
(https://kosis.kr/statHtml/statHtml.do?orgId=1188&tblId=DT_118045_A077&conn_path=E2)
[11]가사 분담에 대한 견해(13세 이상 인구) | KOSIS
(https://kosis.kr/statHtml/statHtml.do?orgId=1018&tblId=DT_135F112205_f04_node4&kw_cd=MT_ZTITLE&iss_id=101_02118com_path=E4)
[12]韓国の仕事と育児の両立支援制度 | 労働対策6研究・研修機構
(https://www.jil.go.jp/forei3n/labor_system/2018/12/korea.html)

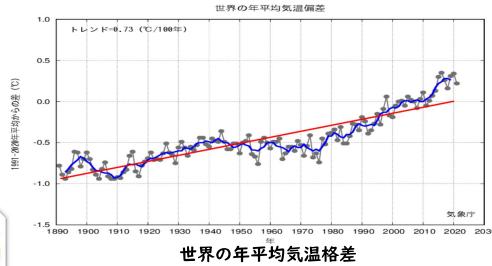
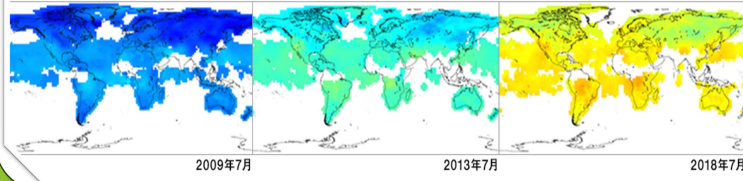
地球温暖化とどう向き合うか？

<ぐるぐるグループ>香港大学：ドン、アビー 嶺南大学：イ・ダヒ 北海道大学：谷口眞隆、徳原瑛人

地球温暖化の現状

世界の年平均気温は、様々な変動を繰り返しながら上昇しており、長期的には**100年あたり0.73℃**の割合で上昇
→**気温上昇がもたらす異常気象への適応に格差**

大気中の温室効果ガスの濃度の変化



地球の気温上昇は続いているよ、

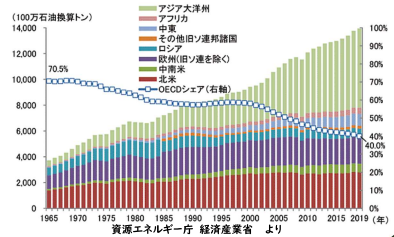


地球温暖化の一番の原因→**大気中の温室効果ガスの濃度上昇**
衛星による観測でも濃度上昇が観測された(左図)
文明発達によるエネルギー消費量の増加に伴う弊害

世界の電力消費量の現状

一番身近なエネルギーは電力である。
韓国の消費電力/人は世界**18**位、日本は世界**33**位、
香港は世界**65**位。
世界的な電力消費量も増加している。
これらは、家電製品の発達によってもたらされている。

下図を見ると、世界のエネルギー消費量が増加していることが分かる。



我々ができる対策は、、、
エネルギー消費量の減少

とりわけ**節電**が重要

- ① 身近さ:誰でも取り組める
- ② 有効性:コミュニティに変化を起こすことができる
- ③ 実用性:現実性が高い

節電を推進する対策行動

我々が考えるのは、

節電キャンペーン

なぜか、、、?

1人のキャンペーンは世界をも動かす力があるから。

<グレートウンベリさんの例>

彼女は2018/10、スウェーデンにて、政府が環境保護を明確に達成することを要求するため、「Friday for Future」と呼ばれる学校ストライキを**1人**で始めた。その後、その活動は世界中の学生を刺激し、2019年には**125か国延べ1,000,000人以上**が気候ストライキに参加した。たった一人が始めた活動が、世界に広がったのである。

キャンペーンの流れ

STEP1

学校内の展示会
期間:1-2か月

学生の環境意識醸成のために、展示会を開催し、教育現場から変革を図る



STEP2

住民への意識喚起
期間:3-6か月

産学連携し、地域支援団体設立に向け、ワークショップを開催



STEP3

政府との連携
期間:1-2年

全国的な節電意識向上のため、地域団体と政府が協力し、節電に関する法規制を促進



STEP4

国際的な関心を集める
期間:5年以上

環境保護主義者を集め、具体的な議案と既存の方針を見直す



今すぐに行えること

1. SNSのステッカーの作成・・・若い世代が情報を入手する媒体はテレビなどのマスコミからSNSへと変化している。そのため、SNSを用いることで特に若い世代での関心を向上させる
2. 節電の習慣を身に着ける・・・上のように電気は最も身近で対策がしやすい。そのため、キャンペーンを行う中で、節電行動を学び、習慣化する



